

＜第7回 前林地域会議 会議録＞

日時 令和5年11月17日（金） 19:00～20:30
場所 前林交流館 多目的ホール
出席者 委員 15名
事務局 成瀬支所長、天野担当長、山本主査

1 会長あいさつ（省略）

2 提言（商業機能）に関する事業展開について（案）

＜事務局から説明＞

- ・ 5年、10年後を見据えて、商業施設を誘致するという視点だけではなく、新しい技術も取り入れながら「商業機能を近くする」「移動支援」という視点での事業も検討していく
- ・ 事業案の一つである「スマートテラスストア」という仕組みを実証実施に向けて検討していきたい。

3 スマートテラスストア（STS）について

＜(株)ゼンリン担当者から説明＞

- ・ 国のモデル事業として令和4年度に秋田県で実証実施。

委員意見

ただ買い物をするだけでなく、地域交流も含めた仕組みはとても素晴らしい。ただ、事業としては費用対効果・採算の面でかなり厳しい事業だと思う。実運用に向けて収支の工夫等はどうしていくのか。

▶ゼンリン

こうした買い物支援の取組を必要としている地域の多くは過疎地域であり、採算の点では非常に厳しい事業であるのは事実。秋田県の実証結果を踏まえ、国に対して「民間と地域の力だけでは事業を継続することが難しいため、公的な補助も必要ではないか」という報告をしている。官民連携の取組が重要だと考えている。

また、高齢者を主な対象者と捉えている事業のため、現金対応が喜ばれると思いき現金扱いを主としたレジシステムを準備したが、電子マネーを利用する高齢者も多く、固定観念にとらわれず、電子専用レジを導入することでコストがかなり抑えられるため、そういった見直しを続けていく。

▶事務局

仮に事業を実施した場合、何かしらの公的支援は必要だと思われる。ただ、少子高齢化等により財政難が続くことは想定されるため、半永久的に十分な

公的支援ができるとは限らない。自立できるよう工夫し続ける必要はある。

事務局意見

秋田県での住民の感想・評価は実際どうだったか。

▶ゼンリン

好感触の意見が多かった。しかし、利用者数が20人程度であり、十分なアンケート結果とは言えないため、もう少し多くの人に利用していただき、改善点も含めて様々な意見を収集していきたいと考えている。

4 報告事項（省略）

- (1) 答申書について
- (2) 前林防災フェスタについて